



CHAPTER 25

Cisco サバイバブル リモート サイト ボイスメール (SRSV) の制限事項と制約事項

この章の内容は、次のとおりです。

- 「ボイスメールの制限事項と制約事項」 (P.25-1)
- 「自動アテンダントの制限事項」 (P.25-2)
- 「ネットワーク アドレス変換 (NAT) の制限事項」 (P.25-2)
- 「バックアップと復元の制限事項」 (P.25-2)
- 「同報リスト」 (P.25-3)

ボイスメールの制限事項と制約事項

- 次の機能は Cisco Unity Connection SRSV ではサポートされていません。
 - ファクス サポート
 - 連絡先のアドレス指定
 - デイスパッチ メッセージ
 - スケジュール ベースのサービス (オプション グリーティングや通知など)
 - 高度なテレフォニー機能 (通話の発信者名確認など)
 - タッチトーン カンパセーション ユーザ機能を使用した音声名、同報リスト、または PIN の更新
 - タッチトーン カンパセーション ユーザ管理インターフェイス (ブロードキャストやグリーティングの管理など)
 - プライベート同報リスト
 - 音声合成または音声認識機能
 - Connection SRSV のタッチトーン カンパセーション ユーザ (TUI) のボイスメール フローのカスタマイズ
 - VPIM
 - IMAP
 - シングル インボックス
 - Cisco Personal Communication Assistant (CPCA) および Web Inbox

- ボイス メッセージの作成、転送、および返信機能は Connection SRSV ではサポートされていません。無応答 / 話中転送機能のみサポートされています。
- ボイスメールの同期は、中央の Connection サーバ経由でのみサポートされています。中央の Connection サーバで受信されたボイス メッセージは、Connection SRSV にレプリケートされません。
- Connection SRSV のメッセージ受信インジケータ (MWI) はサポートされていません。
- ボイス メッセージのアップロードは、Cisco Unified Communications Manager にリホームされる電話とは同期されません。
- 中央の Connection サーバのいくつかのサービス クラス (COS) 機能 (同報リスト アクセスやメッセージの削除動作など) は、すべての Connection SRSV のユーザに対してプロビジョニングされます。
- ユーザは、それぞれのボイスメールの設定を中央の Connection サーバで設定するまで、Cisco Unity Connection SRSV の管理にログインできません。
- ライブ録音およびライブ応答機能はサポートされていません。

自動アテンダントの制限事項

自動アテンダントの設定は、ブランチ サイトでのみ行われます。中央の Connection サーバから同期を行う必要はありません。

次の自動アテンダント機能がサポートされています。

- ローカル ユーザのみの検索

次の自動アテンダント機能に対するサポートはありません。

- パーティションまたはサーチ スペース
- 高度な発信機能 (通話の発信者名確認など)
- インタビュー ハンドラ
- ディスパッチ メッセージ

ネットワーク アドレス変換 (NAT) の制限事項

- NAT はブランチ ロケーションでのみサポートされていて、中央の Connection サーバではサポートされていません。
- 各 NAT サイトでは、1 つの Connection SRSV のみプロビジョニングできます。
- スタティック NAT およびポート アドレス変換 (PAT) のみサポートされています。ダイナミック NAT はサポートされていません。

バックアップと復元の制限事項

重複した電子メール メッセージの作成を防ぐために、Connection SRSV のデータのバックアップの作成はお勧めしません。

同報リスト

- サバイバル モードで同報リストに送信されたボイス メッセージは、WAN の復旧後に初めてメンバーに送信されます。
- 音声名での同報リストのプロビジョニングは行われません。
- 同報リストの録音名のプロビジョニングは行われません。
- パブリック同報リストのみサポートされています。

